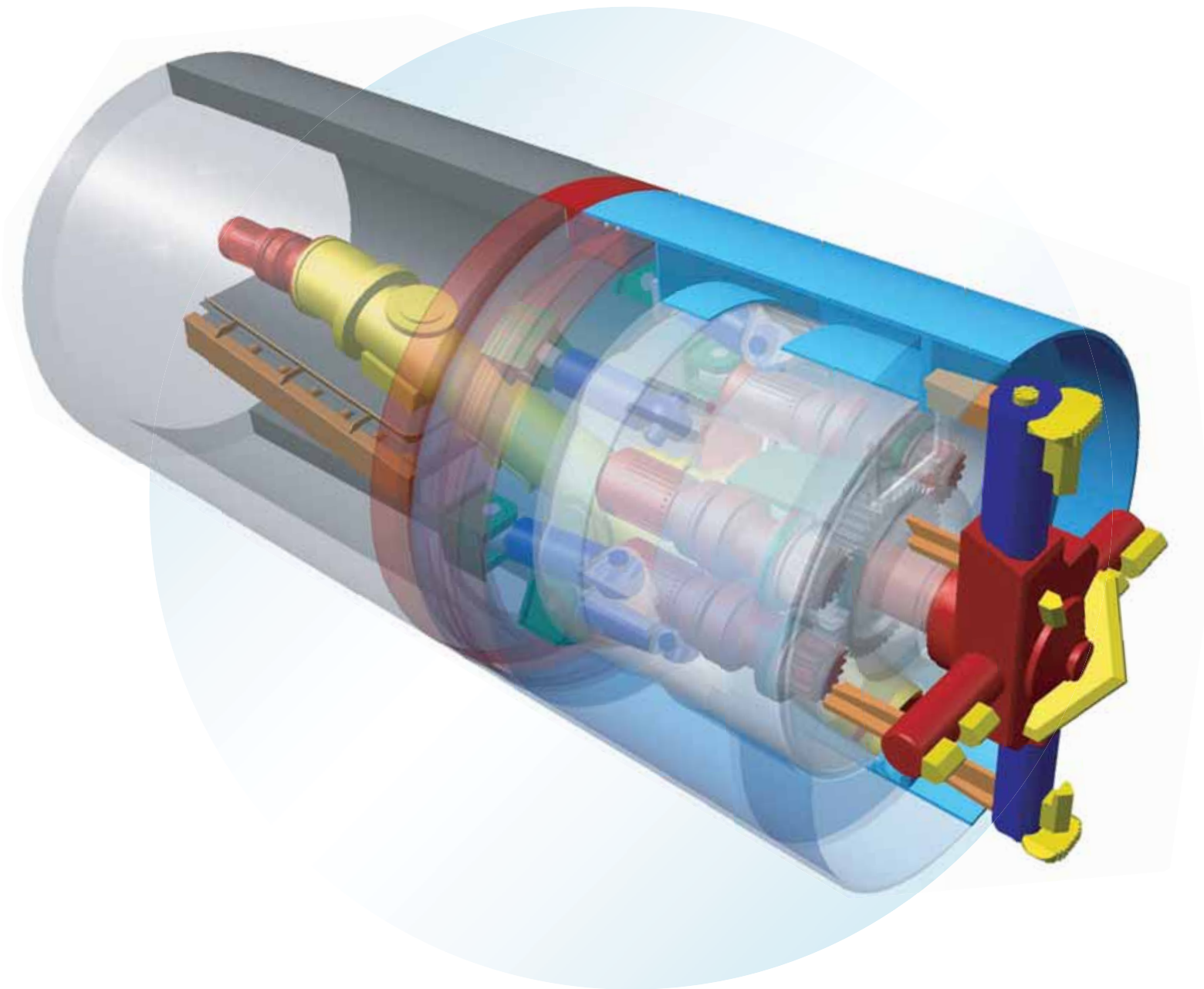
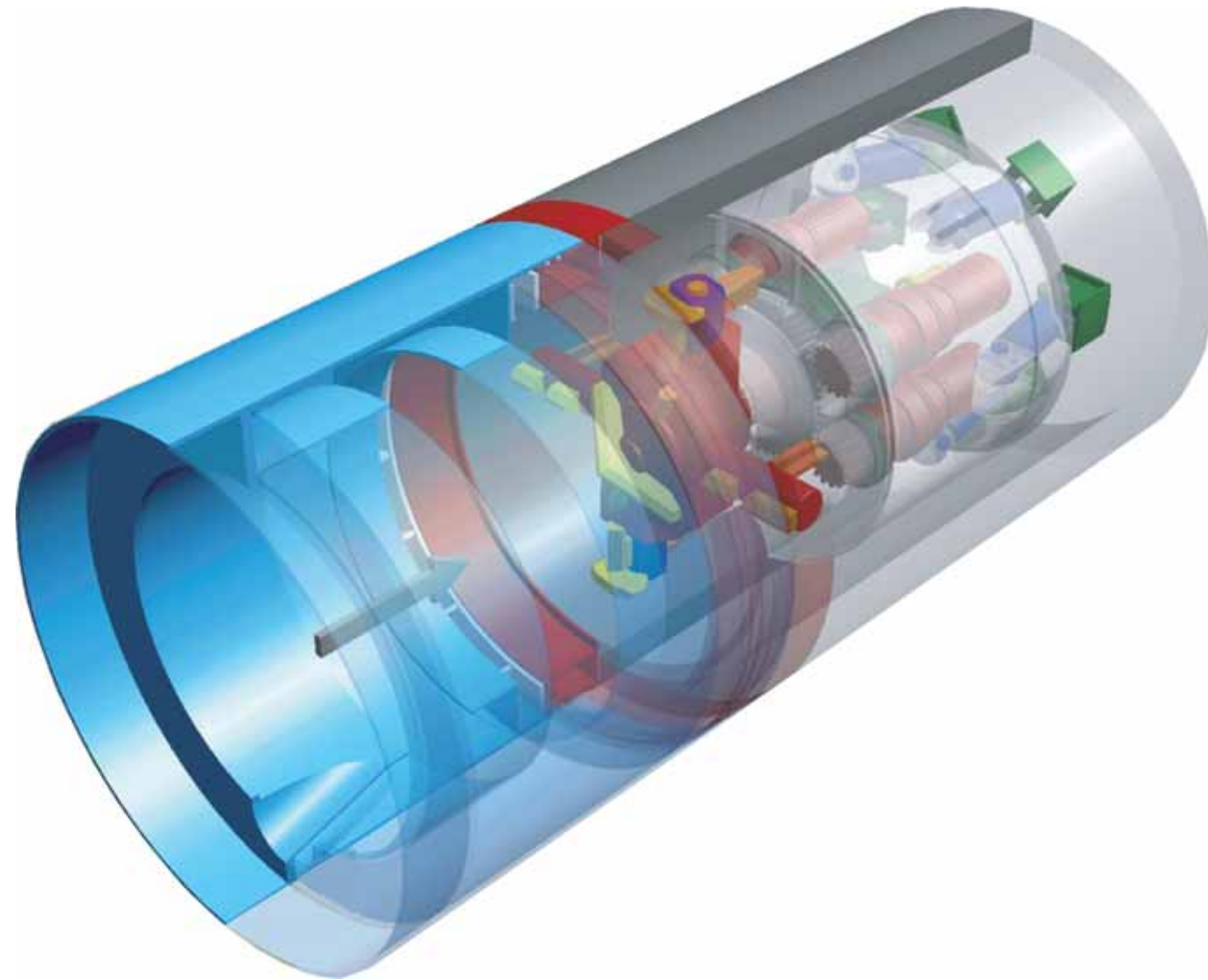


機内から地中障害物を安全確実に撤去

D A P P I 工法

〔着脱・再掘進型管路築造工法〕

国交省 新技術情報提供システム (NETIS) : KT-120002-A



D A P P I 工法技術研究会

■正会員

アイサワ工業株式会社
株式会社大本組
株木建設株式会社
西武建設株式会社

大日本土木株式会社
大豊建設株式会社
株式会社ピーエス三菱
株式会社フジタ

みらい建設工業株式会社
株式会社森本組
相鉄建設株式会社

■賛助会員

株式会社アルファシビルエンジニアリング
ジャパントネルシステムズ株式会社
進和機工株式会社
日立造船株式会社

■事務局

〒104-8289 東京都中央区新川1-24-4 大豊建設株式会社内
TEL : (03) 3297-7006 FAX : (03) 3551-4005

D A P P I 工法技術研究会

掘進機を一時“脱皮”して地中障害物を撤去します。

地中障害物を安全確実に撤去して管路を築造します。

D A P P I 工法

(Detaching And Proceeding to dig Piping)

掘進機の外殻から切羽掘進装置を引き抜き、障害物撤去作業等の後、切羽掘進装置を装着・再発進して管路を構築する技術です。

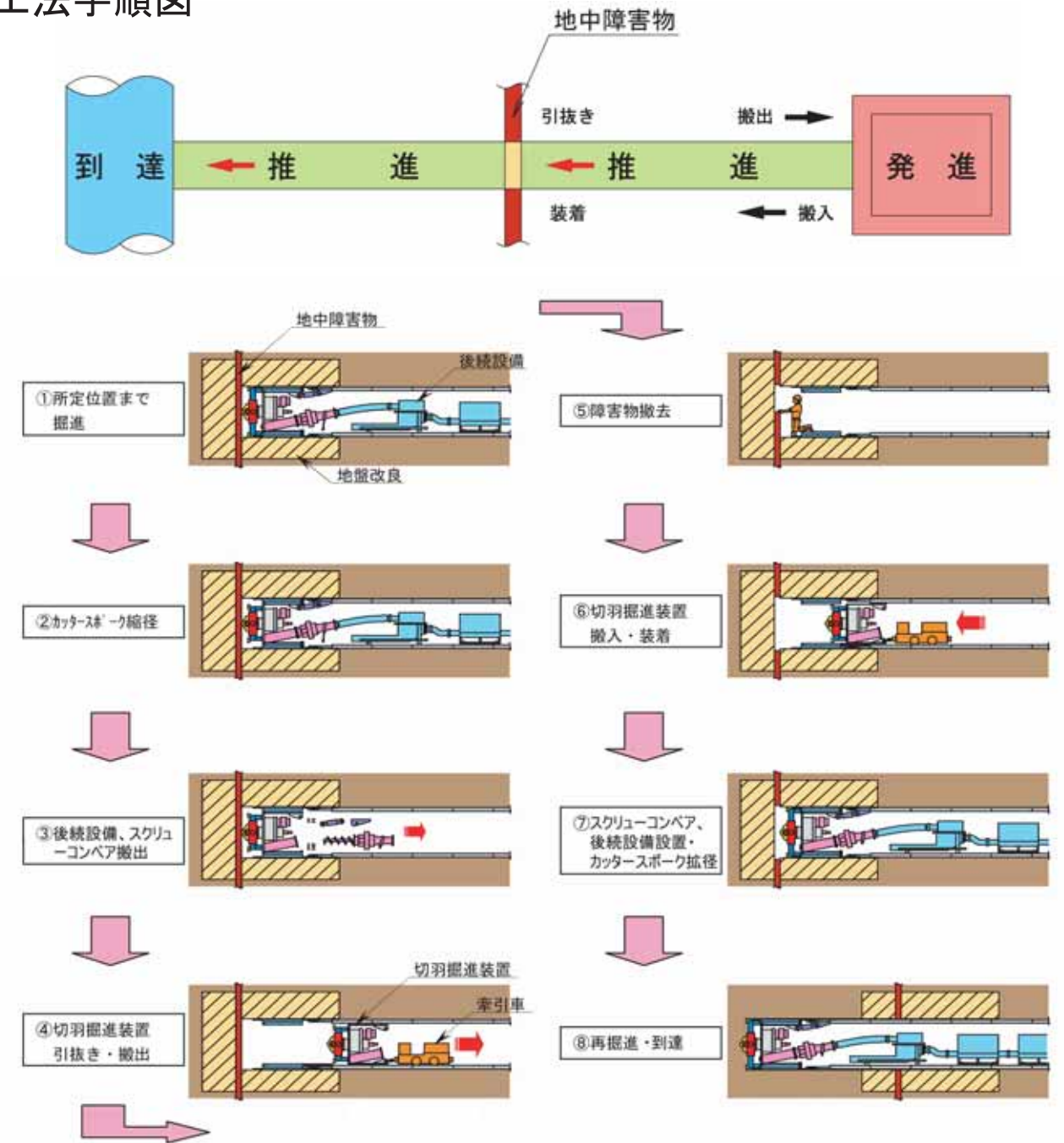
特長

- ◆管渠築造工事において、切羽の障害物を安全確実に撤去し、再掘進が可能です。
- ◆坑内の広い空間で障害物を安全確実に撤去できます。
- ◆可動式カッタースポークは駆動軸から偏心して配置しているため伸縮量が大きく掘進装置の引き抜き、再装着が容易です。
- ◆機内からの遠隔操作でカッターを伸縮できるため、掘進装置の引き抜き、再装着が安全にできます。
- ◆既設の人孔や管渠に接続・到達する場合にも、切羽掘進装置を発進側に回収可能で、再転用できます。
- ◆推進管規格で1~2ランク異なる管径にも切羽掘進装置を再転用できます。

利点

- ◆坑内から障害物撤去ができるため周辺地域への環境負荷が小さくなります。
- ◆工事の実施にあたり交通規制や道路占有期間が短くなります。
- ◆地元との折衝などが少なくなり事業計画の立案が容易になります。
- ◆路上に立坑などを設けなため、第三者災害が発生しにくくなります。
- ◆外的要因による事業の遅延が発生しにくくなります。
- ◆事業全体の工期短縮、コスト縮減が可能です。

工法手順図



適用範囲

- ◆呼び径 1,350~3,000
- ◆超大口径推進・シールド工法へも適用可能
- ◆異なる管径の工事に再転用可能

掘進機概要図

